

1. はじめに

NHK テレビでの以下の報道をご存じでしょうか？

- (1) 3月11日 21時23分:官房長官より、福島第一原発より3km以内の住民へ避難指示が発令された。
 - (2) 3月12日には、上記(1)の避難地域を3kmから20kmに変更が指示された。
 - (3) 4月11日には、更に20kmを超える地域の一部を1カ月以内に避難が必要な区域に指定された。
- これらは、放射能の影響から住民を守るために必要な処置と考えられます。

では上記以外の地域は安全なのでしょう？残念ながら「東京の5つの浄水場で、乳児の摂取制限を超える放射性物質検出」という3月23日のNHKテレビ報道は、そうではないことを示しています。しかし、放射能の強さは私達の目では判りません。そこで、異常があったらすぐ知らせてくれるシステムがあれば!!と考えました。

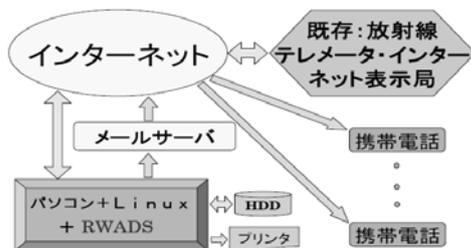


図1. システム構成図

日>	<日	月>	<月	年>	<年	時>
0時	1時	2時	3時	4時	5時	6時
10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時
20時	21時	22時	23時	00分	10分	20分
Zone1	Zone2	Zone3	Zone4	Zone5	Zone6	Zone7
Now	Fout	Print	DL01M	DL12M	1M	GM

図2. 操作ボタンの一部例

RWADS 2011年11月16日16時00分				風速	年累積
No.測定局	[nGy/h]	風向	[m/s]	[uGy/y]	
1 石神	101	N	1.5	884	
2 豊岡	97	NNW	2.0	849	
3 舟石川	66	NNE	1.2	578	
4 押延	77	NNW	0.9	674	
5 村松	80	NNW	1.5	700	
6 横瀬	70	NNE	0.5	613	
7 門部	73	C	0.0	639	
8 菅谷	67	N	1.9	586	
9 浜鼻	66	NNE	0.7	578	
10 馬淵	101	NNW	1.3	884	

図3. 放射能値等の一覧表の一部例

2. 機能とシステム概要等: 当放射能早期警戒表示システム(アールワッズ:RWADS:RadioactivityWAarningDisplaySystem)をインストールして起動すれば、下記の

- (1) が可能となり、更にマウスによるクリックの操作(図2.参照)だけで、下記の(2)や(3)が可能となります。
- (1) 茨城県の27箇所の放射能レベルを10分毎に監視して異常等を検出すれば、指定の携帯電話等に電子メールで自動通知し、10分毎の現在の放射能レベルや風向き等を表と図(図3., 図4参照)で視認。
- (2) 上記(1)の表や図を印刷をする。
- (3) 2011年3月11日以降の任意の月日時分以前の4日間の10分毎、又は190日間の1日毎の放射能レベルを5色のグラフで自由に描いて視認や印刷をする。(「<<http://www.housyasen-pref-ibaraki.jp/eartquake/doserate.html>>での公開データ」のRWADS内部データへの変換結果も使用しています。)

2.1 システム構成: 図1.の通りです。図中の放射線テレメータ・インターネット表示局のURLは、<<http://www.housyasen-pref-ibaraki.jp/present/result01.html>>であり、公開されています。

2.2 システム開放URL: 当システムの操作説明書やソースプログラム等を無料(GPL;The GNU General Public Licence<<http://www.sra.co.jp/public/doc/gnu/gpl-2j>>)で、下記のサイトで開放していますので、貴方もそれらを利用できます。

<<http://www.ibaraki-ct.ac.jp/ece/yas/rwads.htm>>



図4. 地図や風向等の図示の一部例